

「RotaryView」大型回転体用リアルタイム 回転軸振動解析ポータブルシステムの価格構成は？

RotaryView



●使用機器／標準価格例（センサ、アンプ手持ちの場合、パソコンは別途必要）

①LX-120 8チャンネル入力ベースモデル 電圧入力アンプ内蔵、100BASE-TX 付き	¥1,100,000
②回転振動解析パッケージ 「RotaryView」	¥1,000,000
③現地立会費用（地区により8～15万円）	別途
合計 金額	¥2,100,000

振動は変位データで測定し、ロガーには電圧で入力します。加速度、速度センサを使用する場合には積分アンプが必要です。

* センサアンプは現在手持ちの品を使用する場合の金額です。

速度、変位センサ、アンプも一緒に販売可能です。

使用 OS	Windows 10/8/7
CPU	Core i3 以上
必要メモリー	4GB 以上
ハードディスク容量	(計測時間、チャンネルにより決定)
ディスプレイ	カラーXGA (1024×768) 以上
プリンタ	Windows対応プリンタ
インターフェース	イーサネット

* 詳細は当社又はTEAC代理店にお問い合わせ下さい。

■大型モータ・タービン・コンプレッサ・ポンプ等、 各種回転機器の軸振動現象をリアルタイム に収集し、振動・位相解析ができます。

- ・最大16点の振動データと回転パルスを収集し、リアルタイムに回転軸にかかる振動・位相解析が可能です。
- ・データ収集モードは回転数取り込み (Δrpm) と時間取り込み (Δt) が可能です。
- ・タイムトレンド、SV、ポーラル、FFTグラフのリアルタイム表示が可能です。複数のグラフの組み合わせ表示も可能です。
- ・計測条件は複数保存することができるので、繰り返し行なう試験も簡単に操作できます。
- ・回転次数成分(0.5X、1X、2X～)電源周波数次数成分50/60Hzの(1f、2f)の解析が可能です。
- ・速度、変位センサ入力用に使用できる特注のセンサアンプを用意できます。

■後処理のFFT、回転振動解析ができます。

- ・計測データを呼び出して、タイムトレンド、SV、ポーラル、FFTグラフ表示を始め、FFT3次元、カラーコンター、オービット、タイムベース、シャフトセンタライングラフの表示や印刷、テキストファイル変換等、多彩な解析機能を行なえます。
- ・お客様のご要望により、有償でパッケージの改造を行います。詳しくは当社にお問い合わせ下さい。

Rotary View 画面例 : ポーラル、S-V、カラーコンター、オービット/タイムベースとFFT3Dグラフ

